



RAKUWA  
lecture of health

第178回 らくわ健康教室 介護版

2014年1月25日



## 施設ケアマネの取り組み

洛和ヴィラ大山崎 係長 介護福祉士・介護支援専門員 かわむら 河村 けん 憲

# 施設ケアマネの取り組み

## はじめに

洛和ヴィラ大山崎は、特別養護老人ホーム（以下、特養）です。私はそこで、施設ケアマネジャー（以下、ケアマネ）として働いています。今回は、特養など介護保険施設の説明や、施設ケアマネの取り組みについてお話しします。



## 高齢者人口と認知症高齢者

2011（平成23）年版の高齢社会白書によれば、日本の高齢者（65歳以上）人口は、約2,958万人で、国民のおおむね5人に1人が高齢者です。これに対し、認知症高齢者の数は、2012年が305万人、2020年が410万人、2025年が470万人と推計されています。

## 介護保険施設とは

以下の3種類の施設があります。

- **介護療養型医療施設**  
医療依存度が高い方（酸素吸入が必要など）が対象
- **介護老人保健施設（老健）**  
病院と在宅の中間的存在（リハビリテーションを受けられるなど）
- **介護老人福祉施設（特養）**  
在宅での生活が困難な方が対象

## 特養に入所するためには

まず、要介護認定を受ける必要があります。ご本人またはご家族が住んでいる市町村の窓口で申請してください。原則30日以内に認定審査の結果が通知されます。認定は、下記の7段階に分けられます。

要支援		要介護				
1	2	1	2	3	4	5

このうち、特養への入所は、要介護1～5の認定者が対象です。介護予防目的の短期入所は、要支援の認定者でも可能です。

※介護保険制度の2015年改定により、特養の入居資格が「要介護3」以上に変更となりました。また、介護

保険の利用者負担も、一定以上の所得がある人は、2015年8月から2割負担に引き上げられます。（年金収入のみの場合、「単身で280万円以上、夫婦で359万円以上」が対象）

## 特養ってどんなところ？

身体的な介護にとどまらず、利用者さまの個別の生活を可能な限り支援し、実現することを目的とする「生活の場」です。

従来型と新型特養（個室完全ユニット型）があります。新型特養のユニットケアは、10人を1ユニットとしてケアします。一般に、入所者さまの要介護度は、要介護3～5の方が多いです。

## 特養への入所の申し込み方法

施設への申し込み方法は、

- **入所希望の施設に直接申し込みをする。**
- **居宅介護支援事業者に紹介してもらう。**

の二通りがあります。利用料は以下のとおりです。

月額利用料 ※1カ月30日の場合		
<b>ケア費 介護費の1割負担</b> 	要介護度1	23,370円
	要介護度2	25,523円
	要介護度3	27,767円
	要介護度4	29,920円
	要介護度5	32,042円
専用居室費 (完全ユニット型)	1日	1,970円
食費	1日	1,380円
おやつ費	1日	100円
<b>合計</b>		<b>123,870円～132,542円</b>



## ユニットケアのメリット

従来型の大部屋方式と違って、ユニットケアは個室型(トイレ付き)です。専用居室費が要るものの、プライバシーがより多く確保され、ご家族が気兼ねなく入居者さまを訪問できるなどのメリットがあります。インフルエンザなどの感染症の防止にも効果があります。

### 居室



入居者さまの個室の一例。家具は住み慣れたお宅から持ってきてもらいました。手前のたんすは、伝い歩きができる入居者さまに合わせた高さになっています。

### 風呂場



施設内のお風呂。左手前はバスボードといい、浴槽の両縁に渡して固定し、入居者さまに座ってもらい、浴槽に入っていただけます。左奥のいすは、立位や座位が不安定な方が利用します。正面奥のリフトにつなぎ、いすごと持ち上げて浴槽に運べます。

## 入居者さまの生活 (洛和ヴィラ大山崎では)

### 洛和ヴィラ大山崎での1日の流れ

7時~	起床 	トイレ・洗面・着替えなど
8時~	朝食 	
10時~	ティータイム	
10時30分~	入浴や生活の再編 	自室の片付けや、米ときぎ、昼食の1品づくりなど一緒にいき、生活の中でリハビリを行います
12時~	昼食 	ご飯の炊けるにおい、味噌汁の香りが漂います
13時30分~	入浴 	お一人ずつゆったりと入っていただけます
15時~	おやつ 	リビングでおやつを作るときには、良い香りが漂います
18時~	夕食 	
20時~	就寝準備	
21時~	消灯 	安心して休んでいただけるよう個別に対応します

大まかな時間の流れはありますが、お一人おひとりのその日の様子などを確認しながら、個別の介護計画をもとに、安心・安全な介護を提供します。

入浴は週2回、シーツ交換は週1回行います。お花見や散歩を兼ねて、近所のスーパーへの買い物や外出に出掛けることもあります。

### 一品料理

2011年9月から全ユニットで実施



左は餃子づくり、右は豆のさや取り。1日1品は、利用者さまと相談してメニューを決めます。利用者さまの方が詳しいことも多々あります。



## 施設ケアマネの取り組み

ケアマネには、施設ケアマネと居宅(在宅)ケアマネの2種類があります。

### ●施設ケアマネ

施設入居者さまのケアプランを作成するのが役割です。

### ●居宅(在宅)のケアマネ

居宅サービス(ヘルパー、デイサービス、訪問看護など)を利用するためのサービス調整を行ったり、利用者さまのサービス利用限度額などを調整してケアプランを作成します。

## ケアプランって?

個々の状況や希望に合わせたサービス計画です。一定期間の計画(1~3カ月)を立てます。生活していくうえでの要望や体の状態に変化がある場合には、新たな援助目標を設定し、ケアプランを作成します。

## サービス担当者会議って?

ケアプラン作成のための話し合いのことです。利用者さま自身やご家族、それぞれの事例が抱えている問題を、話し合いによって解決することを中心とした問題解決型のカンファレンス

です。職員間、各職種間で、利用者さまやご家族についての情報交換、意見交換を行う情報共有型のカンファレンスもあります。

洛和ヴィラ大山崎では、個々の入居者さまを対象に、3カ月ごとに担当者会議を行っています。ご家族に直接、利用者さまへの日々の関わりや利用者さまの近況を報告したり、情報を共有することでケアプランに反映させています。

## モニタリングって何?

サービスが計画通りに実施されているか、それによって利用者さまのニーズが充足しているかなどを確認する過程です。モニタリングは、入居後1週間の時点で介護士や医療担当者、リハビリテーションの専門家が行い、必要と思われるればケアプランの変更も行います。

## 事例から考える

5年前に入居されたものの、その後一度も帰宅されたことがない入居者Aさんが「家に行きたい(戻りたい)」と訴えられました。Aさんは、よく食事中に眠ってしまうため、食事の介助が必要です。また、車いすの生活で、ベッドから車いすへ移る時にも介助が必要でした。ご家族、他職種と連携して、Aさんの願いをかなえようと思い検討したのは、体調はどうか(医療職と)、ご自宅で車いすが使えるか(作業療法士と)、食事の方法はどうするのか…などです。結果的には、半日ほどでしたが帰宅が実現できました。

施設に戻られてからのAさんは変わりました。食事のときもしっかり起きて食べられるようになり、ベッドから車いすへの移乗も、自分で立ち上がれるようになりました。ご家族も、帰宅したAさんの姿に「懐かしい」「気兼ねなく過ごせている」と感じておられました。



このように、施設に入居しても、家に帰ることはできます。これからも、利用者さまの要望がかなうように関わっていきたいです。